



火災図上訓練を 実施しましょう！



グループホーム火災
(H25年5名死亡)
◎初期消火がされていない。
◎火災通報装置の起動されていない。
◎階段の防火区画が構成されなかった。



大規模倉庫火災
(H29年45,000㎡焼損)
◎初期消火に失敗した。
(消火栓操作不適)
◎119通報の遅れ
◎防火区画が構成されなかった。

初動の対応がうまくいけば被害を抑えられたのでは…



建物構造や利用形態は建物ごとに違う。
火災時の対応は建物ごとで違うのでは…

毎年避難訓練や消火器訓練に参加してるけど、実際に火災に直面したとき、何をすべきなのだろう。



消火器は操作できるけど、消火栓や排煙設備は自信がないなあ

従業員や利用者を火災から守り、被害低減を図るには？



**図上訓練を
おすすめします！**

✍️ 図上訓練で事業所の実情に合った火災対応要領を検討

👉 検討結果をふまえ実訓練の実施

PDCAサイクル

👍 火災対応要領の見直し

📁 訓練結果の振り返り

図上訓練のメリット

- 建物や安全設備を理解し、事業所の実情に応じた訓練ができます。
- 自らが課題を抽出し対応策を考えることにより訓練効果が高まります。
- 少人数でも実施でき、事前の準備が簡単です。
- 図上訓練は多様な訓練想定で行うことができます。